

バイオ後続品(バイオシミラー)について

費用



バイオ医薬品（先行品）は、価格が高く、患者さんの医療費の負担が大きくなってしまふことがあります。

バイオ後続品は、先に発売されていたバイオ医薬品の特許が切れた後に別の会社が製造・販売するもので、同じ効果が期待できる薬です。価格は先行品より安く、患者さんの自己負担を抑えられる可能性があります。

ジェネリック医薬品との違い

ジェネリック医薬品
先発医薬品と有効成分の構造が
まったく同じ

「まったく同じ」 でなくても大丈夫？



バイオ後続品は、品質や効果が先行品と同等であることを、厳しく検査してから発売されています。

バイオ後続品
バイオ医薬品（先行品）と
高い類似性を持った薬

発売後も実際に使っている患者さんの経過観察をしていき、安全性に問題がないかなどを確認しています。

バイオ後続品の 役割とは？

バイオ医薬品（先行品）は、価格が高く、患者さんの医療費の負担はもちろん、国全体の医療費の増加させる原因のひとつにもなります。

バイオ後続品が普及することで、国民医療費の軽減につながり、さらには社会福祉の充実などに寄与することも期待されています。

